

佳作

夢をかなえた私へ

岩手県宮古市立第一中学校

2年 下河原 麗愛

未来の自分へ作文を書こうと思ったのは、今の気持ちをしっかり残したかったからです。

私には将来の夢があります。それは小児科医です。小児科医になりたいと思ったのは小学校のときからで、その目標に向かって今は一生懸命勉強を頑張っています。

未来の自分は夢をかなえられているのでしょうか。

私が小児科医になりたいと思った理由は、小さい頃、熱をだしやすく、病院に通うことが多くて、病院に行くたびに先生や看護師の人が優しくしてくれて憧れたからです。

なぜ普通の医師ではなく小児科医になりたいかという、小さい子どもが好きだからです。そんな子どもが病気で苦しんでいるのを自分の力で助けられたら自分も子どもたちも笑顔になれるからです。

小児科医になるために、その仕事について調べて知らなかったこともたくさんあったので調べて良かったと思います。例えば、主に15歳未満くらいの子どもの対象に、総合的に診療や治療を行うことです。小さい子どもを診るということは知っていたけど、しっかりとした年齢は知りませんでした。そして、小児科医に向いている人の特徴は「子どもを喜ばせること、子どもの笑顔を見ることが好き」「コミュニケーション力が高い人、洞察力が高い人」「親御さんとの良好な関係を築ける気配り目配りができる人」です。そのため今のうちから気配りなどを気をつけて生活していきたいです。

小児科医は一つの臓器を専門に診ていないため、幅広い知識が必要です。なので勉強が大変になると思うけど、今のたくさんの子どもを助けたいと思う気持ちを忘れずに、頑張ってほしいです。

これから高校、大学と進んでいくなかで、たくさん壁にぶつかると思います。ですが、わからないことはわからないままにしないで、いろいろ学べる機会があったら自分から積極的に学んでいきたいです。

未来の自分へ

未来の私はどうしていますか。私は今13歳でこの手紙を書いています。

未来の私は夢をかなえられていますか。

小児科医という憧れの医師になれていますか。

きつとなれていると信じています。

今よりも大変な勉強や経験をしてきたのだと思います。それを乗り越えたかなれているのだと思います。そう思って私は今あきらめたり、逃げ出したりしないで何事も受けとめていきたくと思います。

地元に戻って開業医になることも夢の一つです。宮古の子どもたちの健康を守ってあげたいと思っています。

小児科は内科も診ることができると思うので、おじいちゃん、おばあちゃんたちが長生きできるようにお手伝いができればもっとうれしいです。お母さんもその頃には年をとっていると思うので、ずっと長生きしてくれるように面倒をみてください。

医科大学は6年間なので、学費もたくさんかかります。両親が私の夢をかなえるために頑張って大学に通わせてくれたと思うので、必ず恩返しをしてください。夢をかなえることが一番の恩返しだと思います。周りの人からのアドバイスや力をかりて、自分の気持ちを大切にしてください。思ったことはできる限り言葉にして相手に伝えることが大切です。でも、今の私には少し苦手なことです。それも私には課題の一つです。全て完ぺきな人はいません。

時には他の人と比べてしまう自分もいます。でも比べても答えはいつも出ません。自分は自分でしかいられないのです。

練習や勉強ができる。これでもういい。と思って力を抜いた時には、きっともう手遅れだと思います。後悔しないように自分が泣くことのないように、自分のペースで頑張っていってほしいです。そしていつか、こんな小児科医になりたいなと憧れるような医師になっていたら、そのときは胸をはって、自分が今までやってきたこと、頑張ってきたことをほめてあげてください。

これから私は未来の私になっていきます。未来の私と出会えるのが楽しみです。

自分のやっていることを信じて頑張っていきます。

今の私の気持ちを書きました。いつか返事を書きたいと思っています。